



清風

南砺市立上平小学校
学校だより
令和4年6月
上平小学校ホームページ
<http://kamitaira-e.el.tym.ed.jp>

学びの場と伝統の「気働き」

校長 中町 寿子

今年度、5・6年生の集団宿泊学習を3年ぶりに実施することができました。6年生にとっても、初めての宿泊学習は、どんなに楽しみだったことでしょうか。当日の朝も、「家にいる時からドキドキしていました」、「楽しみ過ぎて今日眠れるか分からない」とわくわくしている様子が見られました。集団宿泊学習のねらいには、楽しい思い出をつくることや、互いを思いやり、共に協力し合ったりすることなどがあります。子供たちの振り返りからは、ねらいの達成における満足感とともに今回の学びをこれからの学校生活に生かしたいという強い思いもみられ、とても頼もしく感じました。

さて、今回、この集団宿泊学習が、参加した5・6年生だけの学びの場ではないことに改めて気付かされました。5・6年生やたくさんの教員が2日間もいないことを知った3・4年生。「掃除はどうなる。一人だけでできるかな。反省会をしたらサインはどの先生にしてもらえばいいの」「委員会の水やり当番や放送担当はどうなるの」など、様々な活動を想定して頭を働かせ始めました。また、同日、本校で市内の小学校長研修会も開催されることになっていましたが、頼みの5・6年生の子供たちがいない中、「任せてくれ」とリーダーシップを発揮したのは4年生です。会場づくりでは、椅子の色の配置まで自分たちで考えてきれいに準備をしました。うれしい気持ちを伝えると「(片付けも)ぼくたちでできます。任せてください」と大張り切り。またもや頼もしい子供たちの姿にただただ感心するばかりでした。さらに、朝、来客用のスリッパを並べると、2年生の子供たちが、「今日お客さん来るんですよ。何人ですか」と聞いてきました。12人と分かると、早速スリッパの数を確かめ、きれいに並べ始めました。一つ一つの機会が、子供たちの成長につながっていくことが分かります。

今回、子供たちの素晴らしい姿をたくさん見ることができました。そして、上平小学校の伝統「気働き」は、この五箇山の子供たち一人一人の心にしっかりと根付いていると感じました。

《ほのぼの上平っ子2》

掃除の時間です。

Aさんの掃除場所は、トイレです。さて、今日は、いつもいる6年生がいません。普段6年生と二人で掃除をしていますから、Aさんは、一人でどうしようと思ったのでしょうか。「手伝ってください」と私に声をかけてきました。「何からすればいいの」と私が尋ねたところ、「では、洗面所をお願いします」と言って、使用するスポンジや掃除の仕方を教えてくれました。そして、次は便器拭き、床拭きと手際よく指示を出してくれました。Aさんも自分の分担箇所を一生懸命掃除していました。最後、反省会も、6年生がいつもやっているように行い、ごみも捨ててきました。その間、ずっとにこにこしながら掃除をしているAさんはとても素敵でした。

子供たちの表現方法の一つに

情報教育担当 朝日 志穂

本校では、学年の発達段階に応じてコンピュータの操作や情報モラルを指導しています。また、電子黒板やデジタル教科書等のICT機器を日頃から積極的に活用し、教育効果を高める取組を行っています。子供たちも教員も安心して効果的にタブレットを活用できるよう、できることから段階的に進めていきたいと考えています。

第6学年では、プレゼンテーションソフトや文書作成ソフト、動画編集機能等を用いての学習を行っています。集団宿泊学習の学びをプレゼンテーションソフトを用いて発表したり、図画工作科の鑑賞を、文書作成ソフトを用いて作成し、共同作業で考えを共有したりしました。ICT機器は、子供たちの考えの表現方法の選択肢の一つとなりました。今後は、目的に応じた表現方法を選択できるように、指導していきたいと考えています。

一人一台端末の導入により、大きな教育効果が期待される一方で、ネットトラブルの増加やセキュリティに対する不安もあります。本校では、デジタルシチズンシップ教育を推進し、学校と家庭と地域が連携しながらこれらの不安に対処していきたいと考えています。保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

